

日本図書館情報学会会報

No. 132

2009年1月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

2009年度日本図書館情報学会春季研究集会のお知らせ

会員各位

日本図書館情報学会会長
根本 彰

2009年の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので、＜発表募集要領＞および＜研究大会・春季研究集会における発表のルールについて＞をよくお読みの上、ふるってご応募ください。春季研究集会の円滑な運営のため、募集要領、発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

研究集会プログラムの発表と参加申込の受付とは、次号の会報（4月刊行予定）で行います。春季研究集会関係の情報は、学会のホームページでも随時提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

記

日 時：2009年5月23日（土） 10:00～17:00（時間は変更される可能性があります）

場 所：駿河台大学 飯能キャンパス

<http://www.surugadai.ac.jp/about/campus/access.html>

住 所：〒357-8555 埼玉県飯能市阿須 698

最寄り駅：西武池袋線・飯能駅からスクールバス約15分

西武池袋線・元加治駅からスクールバス約10分

JR八高線・金子駅からスクールバス約10分

* タクシーの場合には飯能駅が便利です。

参加費：会員 1,000円、非会員 2,000円

＜発表募集要領＞

応募資格：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

発表時間：1件30分（発表時間20分、質疑応答10分）

発表の言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、申込、要綱、発表、記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

申込方法：「2009年春季研究集会研究発表申込書」【(Word版) / (Text版)】に必要事項を記入の上、下記研究委員会春季研究集会担当宛に電子メールか郵便でお送りください。なお、受理された申込書はWeb上で公開する予定です。あらかじめご承知おきください。

申込締切：2009年3月13日(金)(午後6時 必着)

※3月17日(火)までに申込みを受け付けた(受理の連絡はまた別途行います)旨のメールを差し上げます。申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性がありますので、3月19日(木)の正午までにご連絡ください。この時までにご連絡がなかった場合は、申込はなかったものとして処理させていただきます。

発表要旨の提出：発表することが決まった場合には、A4判で4枚の発表要綱を作成し、2009年5月1日(金)までに原稿を駿河台大学春季研究集会事務局宛に送っていただきます。要綱の作成方法、郵送方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。その際、要綱提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。

発表のための機材：パソコンによるディスプレイ(PowerPoint)装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には、研究委員長の岸田までお問い合わせください。

<日本図書館情報学会研究委員会 春季研究集会担当/研究委員長>

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学文学部 岸田和明気付

TEL 03-3453-4511 (代)

E-mail: jslis-kenkyu@ml.keio.jp

<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認の上、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員(正会員・学生会員)は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて1回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表時間)の変更は原則として認めない。
- (7) 発表申込、要綱作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。

2009年度 日本図書館情報学会春季研究集会 研究発表申込書

* 共同研究の場合、発表者全員の名前、所属、連絡先を明記してください。

電子メールの場合の提出先：jslis-kenkyu@ml.keio.jp

年 月 日提出	
ふりがな 氏名	正会員 () 学生会員 ()
連絡先	〒 TEL FAX
所属	
E-mail	
発表題目	
発表要旨	(1)研究目的, (2)研究方法, (3)得られた(予想される)成果 について, できるだけこの3つに区分した形式で, 全部あわせて1200字程度で(極端に多くも少なくもないように)記述してください。この3つに区分して記述することが困難な場合には, 適切な見出しをつけて2~3の部分に分けて記述してください。(必要なら裏面もご使用下さい)
備考 (PC, プロジェクタ以外 の機材使用希望)	

電子メール送付が可能な場合には電子メールでお願いします。電子メール版の申込書は、日本図書館情報学会ウェブサイトから入手できます。なお、電子メールでの提出の場合、添付ファイルは不可とします。

電子メールの宛先：jslis-kenkyu@ml.keio.jp

提出期限：2009年3月13日（金）午後6時必着

2009年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議（A-LIEP 2009）のご案内

日本図書館情報学会は、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科、筑波大学知的コミュニティ基盤センターと共催で、社会の情報化とグローバル化に対応できる情報専門職の養成と新たな情報環境を踏まえた図書館・情報教育プログラムの構築に向けたアジア地域の協調を目指して、各国の研究者・教育者・実践者と課題を共有し、解決策をとともに探求するため、2009年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議(A-LIEP 2009)を以下の要領で開催いたします。

■メインテーマ：図書館・情報教育の国際化

■日 時：2009年3月6日(金)～8日(日)

■会 場：筑波大学 春日キャンパス（茨城県つくば市春日1-2）

■主 催：日本図書館情報学会；筑波大学図書館情報メディア研究科；筑波大学知的コミュニティ基盤センター

■協 賛：情報知識学会；三田図書館・情報学会；情報メディア学会

■後 援：国立国会図書館；国立情報学研究所；日本図書館協会

■参加費：

※参加費の支払い時期によって、料金が異なりますのでご注意ください。

会議参加（3月6日[金]～8日[日]）

	早期申込・支払 (1月20日まで)	事前申込・支払 (1月21日～3月1日)	オンサイト支払 (3月2日～当日)
一般料金	27,000円	30,000円	33,000円
主催・共催学会員	25,000円		28,000円
学生料金	20,000円		23,000円

※参加費には、プロシーディング代、懇親会参加費、7日・8日の昼食代を含みます。

※日本図書館情報学の正会員の皆様は、主催・共催学会員料金でご参加いただけます。

第三日目（3月8日[日]）のみ参加

	早期申込・支払 (1月20日まで)	事前申込・支払 (1月21日～3月1日)	オンサイト支払 (3月2日～当日)
一般料金	6,000円		7,000円
主催・共催学会員			
学生料金	4,000円		5,000円

※第三日目のみの参加費には、プロシーディング代を含みます。

※全てのプログラムは英語で行われますが、第三日目の基調講演とシンポジウムには日本語同時通訳が付きまます。また、三日目の学会主催のワークショップ『図書館情報学教育における国内カリキュラムの標準化に向けて』は、日本語で行われます。国内参加者の方々の第三日目のみの参加も積極的に受け付けておりますので、奮って、お申し込みください。

■参加申込等の詳細については、「参加申込と宿泊予約について（国内参加者用）」

http://a-liep.kc.tsukuba.ac.jp/registration_japanese.html（日本語）をご覧ください。

■プログラム（予定）：

第一日目（2009年3月6日[金]）	
11:00～13:00	受付
13:00～13:15	開会挨拶
13:15～14:15	研究発表（プレナリー・セッション）

14:30-16:30	パネル・ディスカッション 「アジアおよび太平洋地域における情報学教育機関の協調」	
16:45-17:15	スポンサー・セッション (1)	
17:15-17:45	スポンサー・セッション (2)	
18:00-	レセプション	
第二日目 (2009年3月7日[土])		
9:30-11:00	研究発表 (パラレル・セッション)	
11:15-12:15	基調講演 『転換点に立つ図書館』 長尾真氏 (国立国会図書館長)	
12:15-14:15	ポスター・セッション & 昼食	
14:30-16:00	研究発表 (パラレル・セッション)	
16:30-17:30	研究発表 (パラレル・セッション)	
17:45-18:30	研究発表 (プレナリー・セッション)	
19:00-	懇親会 (バンケット)	
第三日目 (2009年3月8日[日])		
9:00-9:30	受付	
9:30-10:30	基調講演 (日本語同時通訳付き) 『変革をもたらす情報学教育機関の登場』 Ronald Larsen 氏 (ピッツバーグ大学大学院情報学研究科長)	
11:00-13:30	シンポジウム (日本語同時通訳付き) 『図書館情報専門職の国際化と将来の展望』 パネリスト: Abdus Chaudhry 氏 (南洋理工大学, シンガポール) Nitecki Danuta 氏 (イェール大学, アメリカ) Leif Kajberg 氏 (王立図書館情報大学, デンマーク) Sung Been Moon 氏 (延世大学, 韓国) 根本 彰氏 (東京大学, 日本) 三輪 眞木子氏 (メディア教育開発センター, 日本)	
13:30-13:40	閉会の挨拶	
13:40-14:40	昼食	
14:40-16:40	<p>談話会 『図書館情報学プログラムの品質保証に関するファカルティ・デベロップメントの協調』 モデレータ: Chihfeng P. Lin 氏 (世新大学, 台湾)</p>	<p>ワークショップ (使用言語: 日本語) 『図書館情報学教育における国内カリキュラムの標準化に向けてー日本における図書館情報学検定試験についてー』 (下記参照↓)</p>

A-LIEP 2009 ワークショップ
図書館情報学教育の国内カリキュラムの標準化に向けて
日本における図書館情報学検定試験について

日本図書館情報学会では、2006年の臨時委員会の答申を受け、2007年度に検定試験実行可能性検討

委員会を発足させ、検定試験の実行可能性について検討を行ってきました。また2007年と2008年には、多くの方々のご協力を得て、準備試験が実施されました。このワークショップでは、参加者の皆さんに、準備試験において実際に出題された問題のいくつかに解答していただいた上で、出題者から出題の趣旨等について説明をします。それを踏まえ、図書館員養成のための標準的知識・技術水準とは何かを考えるとともに、検定試験の意義や役割についても討議したいと考えています。図書館情報学教育関係者のみならず、図書館や情報サービスの実務に関わっているの方々など、多くの方の参加をお待ちしています。

■日時：2009年3月8日(日) 14:40～16:40

■会場：筑波大学 春日キャンパス（茨城県つくば市春日1-2）

■参加：本ワークショップは、A-LIEP 2009のプログラムの一環として開催されますので、上記、A-LIEP 2009の参加方法、ならびに、下記URLをご参照ください。

http://a-liep.kc.tsukuba.ac.jp/registration_japanese.html（日本語）

■使用言語：日本語

プログラム（予定）

14:40-13:45	開会：ワークショップ趣旨説明
14:45-15:05	「図書館情報学検定試験とその意義」（仮題） 根本彰（LIPER2研究代表者）
15:05-15:20	参加者による問題解答
15:20-15:50	出題者による問題解説
15:50-16:35	討議
16:35-16:40	まとめ

各委員会・事務局から

学会賞・学会奨励賞・学会活動貢献賞の報告

第37回（2008年度）の学会賞・学会奨励賞、ならびに、第2回（2008年度）学会活動貢献賞を決定し、2008年11月16日（日）の臨時総会終了後、授賞式を開催しました。受賞者は以下の通りです。なお、授賞理由は、次号の『日本図書館情報学会誌』に掲載予定です。

・学会賞：倉田敬子氏（慶應義塾大学文学部）

受賞著作：『学術情報流通とオープンアクセス』勁草書房、2007. 208p.

・学会奨励賞：気谷陽子氏（筑波大学図書館）

受賞論文：“「学術情報システム」の総体としての蔵書における未所蔵図書の発生”『日本図書館情報学会誌』Vol. 53, No. 2, June 2007. pp. 103-121.

・学会活動貢献賞：福田求氏（獨協大学経済学部）

受賞理由：「図書館情報学文献目録データベース（BIBLIS）」の構築をはじめとする積年にわたる学会活動への貢献による。

学会誌投稿先と投稿規程改訂に関するお知らせ

編集委員会の連絡先（投稿先）は、2009年3月31日まで、下記の通りです。

〒108-8345

東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学文学部

田村俊作研究室気付 日本図書館情報学会編集委員会

E-mail: tamaran@slis.keio.ac.jp

なお、2009年4月1日以降、学会誌投稿規程が改訂されます。「新規投稿規程(2009年10月10日改訂)」につきましては、『日本図書館情報学会誌』Vol. 54, No. 4に掲載されるほか、以下のURLにも記載しております。2009年4月1日以降に投稿をご予定の方はご覧ください。

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/journal/c_reg_081010.pdf

学会費振込先の変更について

ゆうちょ銀行・郵便局と他の金融機関との間で、相互に振り込みができるようになることにともない、2009年1月5日(月)より、学会費振り込み口座番号が以下の通り変更されました。

ゆうちょ銀行 019店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

2008年度までの会費納入のお願い

2008年度までの会費未納の方は、すみやかに会費を納入ください。

上記、振り込み先まで、振り込みください。

会員情報の変更について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」(下記URL)にご記入いただき、事務局までメールでお送りください。

会員情報変更申請書：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html

会員情報に関する問い合わせ先：jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

退会について

退会については特に書式はございませんので、メールもしくは郵送にてご連絡ください。2007年度末の退会届け出は、2008年5月31日が締め切りです。2007年度までの会費はお支払いください。

メールマガジンについて

総務委員会では、メールマガジンを発行しています。本学会、ならびに、他団体等からのお知らせのうち、速報性が重視されるものや、会報でご案内できないものを主な内容とし、随時発行しています。掲載・講読希望の方は、jslis-info@slis.tsukuba.ac.jpまで電子メールにて、ご連絡ください。

事務局受領資料リスト

- ・宍道勉『イタリアの図書館』今井書店鳥取出版企画室、2008、258p.
- ・河井弘志『ドイツの公共図書館思想史』京都大学図書館情報学研究会、日本図書館協会、2008、298p.
- ・国立国会図書館編『2006年度国立国会図書館調査研究報告書 米国の図書館事情 2007』日本図書館協会発、日本図書館協会、2008、365p。(図書館研究シリーズ)
- ・『電気通信普及財団 研究調査報告(CD-ROM版)』、電気通信普及財団、2008.

※会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りい

ただければ幸いです。書評対象文献の選定，ならびに，学会賞選考の際の参考とさせていただきます。